

三石中学校便り

新ひだか町立三石中学校

TEL (0146) 32-3366 FAX (0146) 32-3367

e-mail sh-mitsuishi-jh@town-shinhidaka.ed.jp

三石中学校 教育目標

発行 // 令和5年3月16日



- ★み 自ら磨き続ける生徒
- ★つ 強い意志と広い心をもつ生徒
- ★い 命をいたわり健康な生徒
- ★し 信頼と責任を大切にす生徒



令和四年度 卒業証書授与式 校長式辞

厳しい冬の寒さも少しずつ緩み、蓬萊山のふもと ここ三石の地にも春の訪れを感じる季節となりました。コロナ禍で過ごした期間は、足掛け四年にも及びましたが、本日の校長式辞をマスクなしでお伝えできていることを考えますと、ようやくコロナ禍の生活からの出口が見えてきたような気がします。

本日、このよき日に、三石中学校PTA会長 佐藤 寛宣 様、新ひだか町教育委員会指導主事 神成 浩 様、三石地区学校運営協議会会長 橋本 勝司 様を来賓にお迎えし、多くの保護者の皆様方の御臨席のもと、新ひだか町立三石中学校第二十回卒業証書授与式を挙行できますことに心より感謝を申し上げます。

中学校の課程を終え、新たな道に飛び立っていく三十三名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは中学校の三年間をコロナ禍で過ごし、様々な規制がある中で学校生活を送りました。それにもかかわらず、常に今できることを考え、前向きに活動し、立派に成長してくれました。その立派な姿は、皆さん一人一人のたゆまぬ努力が実を結んだものでありますが、周りの方々の支えがあったからこそ成長できたのではないのでしょうか。ここまで皆さんの成長を支えて下さった家族や友達、先生、地域の方々など多くの方々に対する感謝の気持ちを大切に、これから進む道に向けての決意を新たにして下さい。

卒業生の皆さんは、とてもしっかりとした挨拶ができ、礼儀正しく行動力があり、温かく思いやりの心をもつ人たちでした。体育大会や学校祭などの行事においては、三年生としてのリーダーシップを発揮し、全校生徒に「やる気」と「思いやり」を伝え、仲間と協力して団結することの素晴らしさを教えてくれました。部活動でも、三年生は時に優しく、時に厳しく、後輩の面倒を見てくれて、野球部・バレーボール部・バドミントン部・吹奏楽部の四つの部活動の基盤をつくってくれました。私が皆さんと廊下ですれ違ふと、皆さんはいつも笑顔で挨拶してくれて、心が和みました。たてわり班で行う活動や掃除でも、三年生はいつも班長として、下級生を導く存在でした。

そんな皆さんも今日で卒業です。皆さんには、これから様々なことに挑戦し、「できる幸せ」を可能な限りたくさん味わってほしいです。物事が「できる」ようになるためには、「やり抜く力」が必要で、物事をやり抜くには、四つの力が必要であると言われていています。

- 一つ目は、「困難なことに立ち向かおうとする闘志（ガッツ・・・Guts）」
- 二つ目は、「失敗しても諦めずに続ける粘り強さ（レジリエンス・・・Resilience）」
- 三つ目は、「自分で目標を見つけようとする自発性（イニチアチブ・・・Initiative）」
- 四つ目は、「最後までやり遂げる執念（テナシティ・・・Tenacity）」です。

この四つの力は、それぞれの頭文字をとって「グリット・・・Grit」と呼ばれています。この「グリット」を今まで以上に身に付け、一人ひとりの夢の実現に向かって突き進んでください。大いに期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。長くも、そしてあっという間にも感じられる義務教育の九年間だったことと思います。そのうち中学校の三年間はコロナ禍であったため、様々な面でご理解、ご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

最後になりますが、卒業生の皆さん。皆さんがこの三石中学校で学んだ三年間が、これからの人生の大きな礎となり、輝かしい未来につながることを願っています。皆さんの前途を祝福して、また、三石中学校の教育活動推進のためにご尽力を賜ったすべての皆様に深く感謝申し上げます。式辞と致します。

令和五年三月十六日 新ひだか町立三石中学校長 日比野 光洋